

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~2日	6月 ~9日	6月 ~16日	6月 ~23日	6月 ~30日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	15	8	7	9	11
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	13	15	14	14 (1)	20
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	0	1	0	1	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	1	0	3	2	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	4	1	2	2	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	2	5	7	2	7
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第26週(6月24日~6月30日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	8	結核	8					4	2	2	
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4					1		3	
四類	1	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1		1						
五類	11	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1			1		
		急性脳炎	1				1				
		後天性免疫不全症候群	1					1			
		侵袭性肺炎球菌感染症	1					1			
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1			
		百日咳	1			1					
		梅毒	4			1			2		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 手足口病

定点当たり15.82人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。特に、この疾患にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活する保育園や幼稚園などでは、注意が必要です。

2 咽頭結膜熱

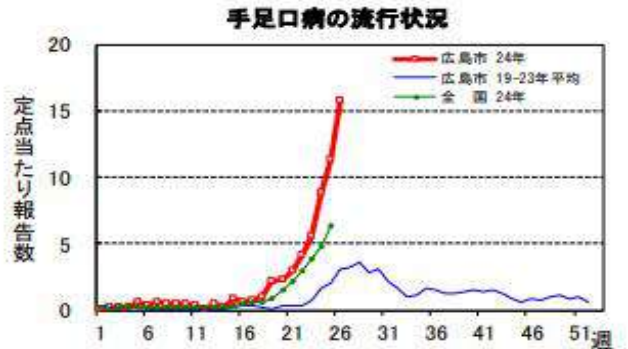
定点当たり1.05人の報告があり、増加が続いています。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

3 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は11件になりました。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.29人の報告がありました。前週と比べてやや減少しましたが、高齢者施設等での集団発生が続いており、注意が必要です。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	5	0.14	0.19		小児科	ヘルパンギーナ	25	1.14	1.00	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	115	3.29				流行性耳下腺炎	-	-	0.18	
小児科	RSウイルス感染症	12	0.55	1.40		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	23	1.05	0.43			流行性角結膜炎	6	0.75	0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	2.05	1.45		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	100	4.55	4.04			無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	水痘	5	0.23	0.14			マイコプラズマ肺炎	4	0.57	-	
	手足口病	348	15.82	3.07			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.16			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09	
	突発性発しん	10	0.45	0.36							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	58	10歳代・推定感染地域: 国外・1人、80歳代・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	11	10歳代・O103
5	急性脳炎	1	6	10歳未満
5	後天性免疫不全症候群	1	2	40歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	6	40歳代
5	梅毒	2	71	40歳代、60歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	5	60歳代